

障害者等ITバリアフリープロジェクト 特別シンポジウムの開催

■障害者等ITバリアフリープロジェクト 特別シンポジウムの開催■

NEDO 技術開発機構(独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構)と NEC コンソーシアム(※1)で取り組んでおります「障害者等ITバリアフリープロジェクト」では、IT 通信技術(IT)の力でバリアフリー化を進め、誰もが「移動しやすい社会」の実現を目指して日々活動に励んでおります。

愛・地球博においても、実証実験ならびに本システムの展示を行っており、障害者の方々だけではなく、一般の方々にも本プロジェクトにおける活動および未来の歩行システムについての理解を深めていただく為、特別シンポジウムを開催いたします。

※ 1 「NEC コンソーシアム」は NEDO 技術開発機構(独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構)からの委託事業として本プロジェクトを実施しています。NEC コンソーシアムは日本電気株式会社、池野通建株式会社、株式会社 NTT ドコモ、株式会社日立製作所、三菱プレジジョン株式会社、株式会社野村総合研究所で構成されます。

■開催日時

開催日:2005年6月27日(月)

時間:13:30 - 16:30

会場:愛・地球博 長久手会場 ロータリー館(ロータリーホール)



■障害者等ITバリアフリープロジェクトとは



通信技術(IT)の力で「情報面からの」バリアフリー化を進め、誰もが「移動しやすい社会」の実現を目指して携帯端末とRF-ID、FM波、赤外線等の既存の技術を用いて障害者等支援システムの高度化を支援するシステム開発と、それに伴う取り組みを行うプロジェクト機関です。具体的には、既に多くの導入実績がある赤外線(IR)やFM波を用いた歩行者移動支援システムが一台の端末で利用可能となる仕組みや、衛星からの電波を用いて自らの位置を正確に測定するGPS(全地球測位システム)、誘導ブロックなどに埋め込まれたRFIDタグ(電波を使って情報のやり取りをするICチップ)などを用いて、目的地までの誘導、危険個所での警告、周辺情報の案内、さらにインターネットを利用して様々な情報を得られるようなシステムの検討・開発を行っております。

これらの機能は、将来的に、普段から持ちあるくことのできる携帯電話に内蔵できるようになるかもしれません。



■本シンポジウムの趣旨

現在、愛・地球博において、上記システムの展示、実証実験を行っております。これに伴い、同会場で、障害者のみではなく一般の方々にも本プロジェクトを知って頂き、理解を深めていただく為に、特別シンポジウムを開催いたします。

■シンポジウムプログラム

- 13:00～ :受付開始
- 13:30～:特別シンポジウム
 - ・プロジェクト概要説明
 - ・パネルディスカッション
- 15:45～:見学・体験(希望者のみ)
- 16:30 :終了

■パネルディスカッション内容

・テーマ「未来の歩行システムを考える」

今回の実証実験システムと既存のPICS等のシステムとの連携、また将来的な歩行誘導案内システムについてディスカッションを行います。

・パネリスト

東京大学大学院工学系研究科産業機械工学専攻 教授
鎌田 実

NEC コンソーシアム代表
日本電気株式会社医療ソリューション事業部第四営業部
マーケティングマネージャー
北風 晴司

横浜市視覚障害者福祉協会 会長
磯子区視覚障害者福祉協会 会長
上杉 惇

近畿大学理工学部社会環境工学科 教授
三星 昭宏

■参加方法

当日は自由にご参加ください。(13:00～13:30までにロータリーホールへお越しください。)
なお、会場の座席数に制限がありますので、定員になり次第、締め切らせていただきます。